

# 第1回定例会

平成31年第1回定例会は、3月1日から18日まで、18日間の会期で行いました。議案34件、報告1件、同意2件、諮問1件、発議1件、発委2件が提案されました。議案・同意・諮問・発委は原案どおり可決、発議は委員会継続審査としました。

# の主な事業

主な新規・継続事業を紹介します。予算の詳細は4ページ以降をご覧ください。



## プレミアム商品券事業 (新規)

2851万円

消費税・地方消費税の10%への引き上げが低所得者・子育て世帯（0～2歳児）の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起することを目的とし、プレミアム商品券の販売を行うもの。財源は、国庫支出金2851万円。



## 道路長寿命化事業 (新規)

2919万円

舗装などの個別施設計画として道路長寿命化計画を策定し、町内道路4路線の舗装補修工事を行う。また、小型構造物の個別施設計画も策定し、町内4カ所の道路側溝などの更新事業を行う。財源は、町債2620万円、一般財源299万円。



# 平成31年度

平成31年度一般会計予算は、総額79億4000万円となっています。ここでは



中校舎につながる校舎増築予定場所



入学式後解体される体育館

## 吉岡中学校校舎増築事業（継続） 1億9424万円

生徒の増加などにより、平成32年度以降に教室不足が見込まれるため、教室不足解消に向け、校舎の増築を行うもの。

財源は、国庫支出金6751万円、基金繰入金2533万円、町債1億140万円。

## 駒寄小学校体育館改築事業（継続） 5億4760万円

現在の体育館は、児童の増加により狭小化しており、全校集会や記念式典などに支障を来している。そのため、既存の体育館を解体し、現在の児童数に応じた、より大きな体育館を新築するもの。平成31年度は、工事を行うほか、新体育館用の備品を整備する。財源は、国庫支出金1億3272万円、基金繰入金8439万円、町債3億3050万円。

事業名	予算額	内容
障害児支援事業（拡充）	1億623万円	児童発達支援、放課後等デイサービス利用者に対し、障害児通所支援費の支給を行う。平成31年度からは、在宅で医療的ケアの必要な重症心身障害児（者）を介護する家庭に対し、長時間の訪問介護の費用の一部を、町と県で2分の1ずつ負担する事業を実施する。財源は、国庫支出金5305万円、県支出金2659万円、一般財源2659万円。
医療費無料化事業（継続）	2億1898万円	子ども、重度心身障害者、母子・父子家庭の健康管理の向上に寄与するために、社会保険などで医療を受けた場合に自己負担分を公費で負担する。財源は、県支出金1億486万円、諸収入200万円、一般財源1億1211万円。
駒寄第3学童クラブ用地取得事業（新規）	1800万円	現在、賃貸借契約で利用している駐車場について、施設が整備されたことで恒久的な利用が見込まれるため購入するもの。財源は、基金繰入金1800万円。
健康No.1プロジェクト事業（拡充）	373万円	平成31年度は、参加者の多い合同体力測定会や運動教室、料理講座、健康まつりの内容をさらに充実させるとともに、新規事業として「健康ポイント事業」をスタートさせ、健康づくりに関するさまざまな事業の参加者に景品と交換できるポイントを付与し、健康推進活動の普及啓発と参加者の拡大を目指す。財源は、一般財源373万円。
町道熊野・吉開戸線改良事業（新規）	2080万円	駒寄スマートICの東側に位置し、町の商業用途の設定手続きを進めている地域に接続する町道熊野・吉開戸線について、大型商業施設の来店を見込み、将来の交通混雑を防止するため拡幅するもの。平成31年度は、用地測量などを行う。財源は、国庫支出金1000万円、町債900万円、一般財源180万円。
駒寄スマートIC大型車対応化事業（継続）	3億4306万円	前橋市、吉岡町およびネクスコ東日本が連携し、駒寄スマートICの大型車対応化事業を実施する。平成31年度は、ネクスコ東日本においてランプ部の本体工事および橋梁工事などを実施する。財源は、国庫支出金1億7400万円、前橋市負担金1億1475万円、町債4870万円、一般財源561万円。
八幡山グラウンド拡張事業（新規）	3000万円	町民の交流・健康づくりの場となり、スポーツの拠点となる公園の充実を目指し、八幡山グラウンドの拡張を行い公園の魅力化を図る。平成31年度は周辺道路の線形設計および造成工事を行う。財源は、一般財源3000万円。